

**TMP**  
SEMI & FULLAUTOMATIC TACTICAL AIR MACHINE PISTOL

(SPEC.)

TMP/SPP共通 ●口径=9mm (6mm BB)  
●全長= 923mm (サブレッサー装着時 530mm)  
●装弾数= ロングマガジン40+1 (薬室内)発、  
ショートマガジン?+1発 ●使用パワーソー  
ス= KSCマイティボンベ(フロン134aHFC)  
●機構= フルストローク&フルオープンシス  
テムガスブローバック/クローズドボル  
トアクション/セミ&フルオートマ  
ティック/リキッドチャージマガジ  
ンシステム ●材質= ナイロン系樹脂/  
ABS樹脂/ Znダイキャスト、ス  
ティールプレスパーツetc.

TMP個別 ●重量= 約1,550g (サブ  
レッサー装着時: 約2,130g)

SPP個別 ●重量= 約1,515g (サブ  
レッサー装着時: 約2,095g)

(付属品)

●0.2g BB弾100発 ●BBローダー  
セット ●マスプロタイプサブレッ  
サー (セット品のみ) ●取扱説明  
書、エアガン警告カード、愛  
用者カード

(標準装備品) ●プリジション(精密)バレル

**SPP**  
SEMI & FULLAUTOMATIC SPECIAL PURPOSE AIR PISTOL

## OPERATOR'S MANUAL

※写真の銃はTMPセットモデル(サブレッサーつき)で、  
スコープは参考品かつ装着例です。

●買った取り扱い、改造を施した銃、分解・組み立て・改造で生じた事故・故障・ケガ等につきましては、当社ではいっさいの責任を負いかねます。ご了承ください。●本説明書内で記載されている商品価格に消費税は含まれていません。●商品や本書内容のなかで不明な点がありましたら、TELまたはFAXにて当社までお問い合わせください。(FAX 0552-77-6978)

**KSC**  
CORPORATION

株式会社 ケー・エス・シー

☎0552-77-2365 ◆◆◆ ☎400-0126  
山梨県中巨摩郡敷島町大下条1616

KSC  
CORPORATION

**TMP/SPP**

**取扱説明書**



**警告**

誤った取り扱い・不注意な発射(撃発)は、ケガ・物品破損・事故を招く危険があります。付属の取扱説明書や警告カード等を必ず最後まで良く読み、正しい使用方法・注意事項・マナーを十分に認識したうえで、安全に当製品をお使いください。



ケガに注意 説明書必読

本製品をご使用になる前に  
必ず最後までお読みください

# 操作 I

## 1 【ガスの注入】

1. マガジンキャッチを押し、マガジンを抜いてください。この時マガジンが温まりすぎていないことを確認してください。(温まりすぎはガス充填量減少につながります。次ページを参照し状況改善を行なってください。)



### 注意

マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形し、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上へ落ちてケカをしないようご注意ください

2. マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティポンベのノズルを差しこんで、ポンベを軽く押し下げてください。この時、ポンベとマガジンが垂直方向に一直線になるようにするのがコツです。うまく注入できている時はシューという音がします。



### 注意

ポンベを押し下げたとたん液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ポンベとマガジンが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください



3. 正常な注入のち満タンになった時も、液状ガスが吹き出します。

KSC  
マイティポンベ500  
¥1,160 (500g入り)  
(無公害フロンHFC134a)

●1gあたり2.32円。今、  
最もお得なガスポンベ



### 警告

#### 《ガスポンベ使用上の注意》

●KSCマイティポンベ以外は使用しないでください。特に高压ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはポンベの口金が合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加熱することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティポンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負いません



破裂注意 40℃以上厳禁 火に近づけない 熱湯で温めない 日光に当てない 車中放置禁止

### 警告

#### 《リキッドチャージマガジン使用上の注意》

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガスを注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありませぬ ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。(メインティ

正しい操作方法を身につけて、  
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう。



ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやポンペを故意に温めないでください ●ガスが入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の「マイティポンペ」と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやポンペが低温になってもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですので絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っていますので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品の負担が増し劣化を早めることとなります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

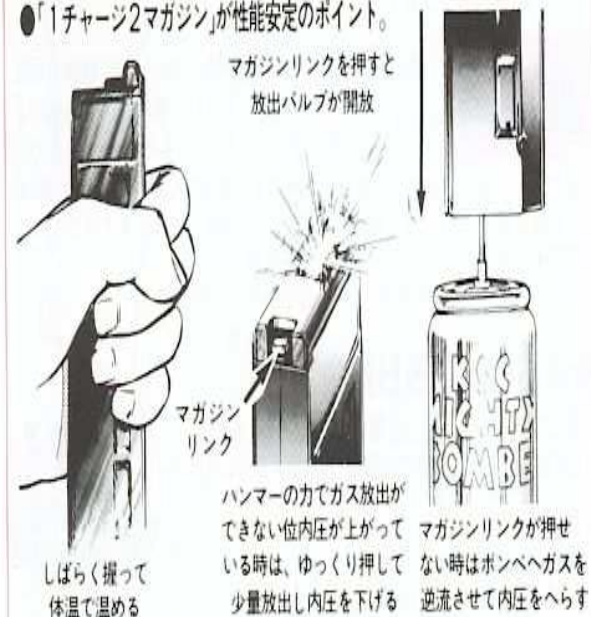
## 注意 《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブローバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極端に冷えすぎた場合、ブローバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷えが確認された場合は、注入後に掌でしばらく握っているか、室内など20~30℃のところではしばらく放置して常温(=マガジンを触ってみて冷たくも熱くもない状態)にしてください(放置しておく際は子供の手の届かない所で行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎてしまった場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの「はりつき現象」が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押し、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないこともありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにポンペを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押しつけると、相方の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないこ

とがあり、さらにマガジンが温まったままでガス補充も十分には行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げ)改めてガス注入を行ってから使用してください。②当マガジンは通常100発以上(=ロングの場合)のガスが蓄えられます。性能安定と、残りのガスを有効に使う意味から2マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていることが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がポンペ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行ってもマガジンからポンペへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもあります。そんな時は放出バルブを押し残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行ってください。③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても1気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充填が不十分に行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押し外気圧とマガジン内圧を同じくしてからガスの注入を行ってください。④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合、ガス放出・ガス注入をくりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくもなく熱くもない状態)にしてから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、マガジンリンクを押すことで行なえます。

最後に以上の内容をまとめると、以下の3項に集約することができます。

- 銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける。
- 使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする。
- 「1チャージ2マガジン」が性能安定のポイント。



使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

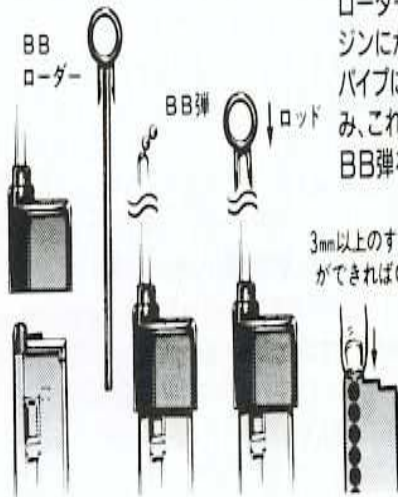
アフター

通販

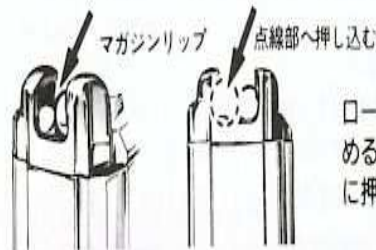
実銃

# 操作 II

## 2 【BB弾の装填】



ローダーの向きを合わせてマガジンにかぶせ密着させ、BB弾をパイプに入れて、ロッドで押し込み、これを2度くりかえします。BB弾を入れ終わったら爪先でBB弾を押し、3mm以上3mm以上のすきま上のすきまができるができればOK ことを必ず確認してください。すきまができない時は、装着時に銃を破損させますので1発抜き取ってください。



ローダーを使わずに一発ずつめる場合は真上からリップの間に押し込んでください。

### 注意

●指定数以上のBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ(7ページ参照) ガス圧を下げてからご使用ください

### ●KSC純正BB弾●

KSCマイティBB0.2g弾(2,400発入り)¥700  
KSCマイティBB0.25g弾(1,500発入り)¥750

★気温が30度をこえるような条件下での使用の際は、命中精度の安定という意味から、0.25g弾をお使いくださることをお勧めします。



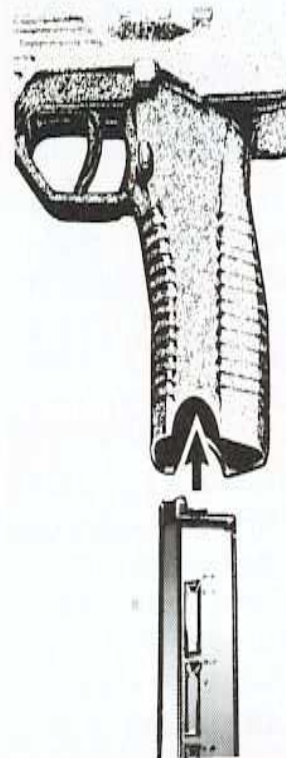
このマークが目印!

### 警告

## 《BB弾使用上の注意》

●KSC製エアガン(ガスガン含む)は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様々な作動不良の要因ともなります。ご注意ください。(当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまうというのが実状です。) ●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負えません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります。

## 3 【マガジンの装着】



マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジんキャッチがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いてみて抜け落ちないことを確かめてください。

★マガジん温度を常温に保つこと、1チャージ2マガジんが性能を100%安定して発揮させるヒケツです。

### 注意

●万一、指定弾数をこえるBB弾がマガジンに装填されている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようとすると銃が破損します。このような時は決して無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください。

正しい操作方法を身につけて、  
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう。



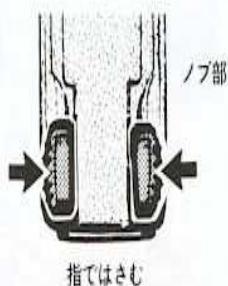
## 4 【初弾の送りこみ】

コッキングハンドルのノブ部を指で挟み、いっぱいまで引き出し、パツと指を離すと、その動きに連係して後退していたボルトが前進して初弾をチェンバーに送り込みます。(この時、内部のハンマー=撃鉄はコッキングポジション=起きた状態となります。)



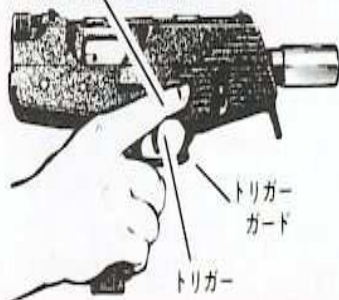
以上の操作をしないでトリガーを引いた場合、下記の現象が起きます。

- ①ハンマーがレストポジション(ロックしていない状態)の時は、いっさい作動しません。
- ②ハンマーがコッキングポジションの時に薬室にBB弾が入っている場合は、発射とガスブローバックが行なわれ、BB弾が薬室にない場合はガスブローバックのみが行なわれます。



**注意** 上記の操作をゆっくり行なうと送弾不良の原因となりますので注意してください

トリガーフィンガー(引金を引く指)をトリガーの外へ出しておく



**警告** ●撃つ直前まで薬室にBB弾を送りこまないでください ●初弾を送りこんだ時点からは、いつでも発射できる状態になっています。万一の誤射を防ぐ意味で、撃つ時以外はいつもトリガーガードの外へトリガーフィンガー(引金をひく指)を出しておく習慣をつけましょう

## 5 【セレクター(セフティ)】

右または左から押し込むことで、フルオート、セミオート、セフティポジションがセレクトできるクロスボルトタイプのセレクターです。



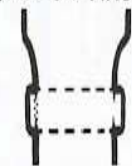
白いマークが見える



### ●セフティポジション

銃を握った状態でもっとも右側にずらした位置がセフティ(安全)ポジションです。この状態ではトリガーを引いても銃は作動しません。安全確保のために、射撃時以外はつねにこのポジションにしておく習慣をつけましょう。

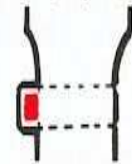
赤いマークが半分見える



### ●セミオートポジション

セレクターが左右両方に出っぱって見える中間位置がセミオートポジションです。引き金をひくたびに1発ずつ発射することができます。

赤いマークがすべて見える



### ●フルオートポジション

一番左側の位置がフルオートポジションです。引き金をひいている間、連射し続けることができます。



**警告** ●セレクターを操作する時は、不調や故障の場合を考え、万一暴発しても事故や器物破損がおきないよう、銃口の向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください。 ●セレクター操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう。

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

通販

実銃

# 操作 III

## 6 [発射]



セフティ位置にあるセレクターを、セミまたはフルの位置にずらして、トリガーを引いてください。ガス圧によるBB弾発射とボルトの後退(=ガスブローバック)がセミまたはフルオートで楽しめます。

★スベアマガジン(ロングタイプ¥4,800)を活用することで、いっそう楽しいシューティングが味わえます。

★快調作動はマガジンの温度コントロールがポイントです。

### 注意

●パワーソースとして使用しているガスの特性上、寒冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起きることもあります(6ページ「リキッドチャージマガジン使用上の注意」7ページ「マガジン性能安定のポイント」参照)。これらはいずれも故障ではありませんので、ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しません。早めにガスを補充してください



★性能どおりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホルドが不可欠です。TMPの時はフォアグリップを握り、SPPの時は図のように握るツーハンドホルドが最も効果的です。右手は突き出し左手は引きつけるようなイメージで握るのがコツです。

### 警告

銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス(=生ガス)がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください。

★以下のようにスリングなどを利用して射撃時の銃の安定をはかる方法もあります。

射撃時に右腕が少し曲がる位の位置でピンと張るように、スリング(ストラップ)の長さをあらかじめ調整しておきます。これだけで、銃を前へ突き出しスリングをピンと張って撃てば銃の安定度は格段とアップします。ぜひお試しください。(詳細はアクセサリーの項参照)



### タクティカルスリングを利用したシューティング

TMP/SPP  
タクティカルスリング  
(ワンタッチリリースタイプ)  
¥3,200

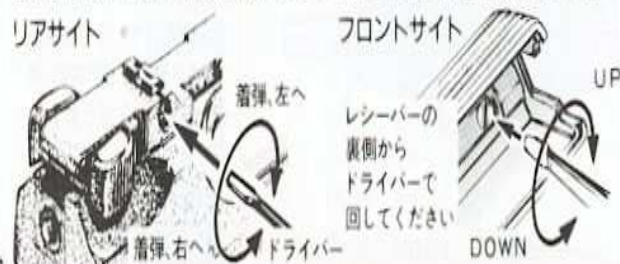


### マシンピストルキャリアを利用したシューティング

TMP/SPP  
マシンピストルキャリア  
(システムホルスターリーグシリーズ)  
KSCのシステム  
ホルスターシリーズに装着

### フロント&リアサイトの調整

フロントサイトで上下の微調整、リアサイトで左右の微調整ができます。



正しい操作方法を身につけて、  
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう。



## サプレッサーについて

(セットモデルのみに標準装備)  
別売も行なっています

サプレッサー装着はバレルカバーを外してから行ってください。



●サプレッサーとは減音装置を意味します。当製品には実銃用と同様の効果を生むパツプルが20数個入っていますので、銃口から出てくる発射ガス音をかなりの率で減音させることができます。ただし、銃本体の作動音まで消せるわけではありません。この点はご了承ください。



**警告**

## 《発射時の注意》

不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。発射の際は跳弾にも十分に注意し周囲の安全を必ず確認してください。

●跳弾や万一の破損による部品飛散を想定してシューティンググラスなどのアイプロテクション(目の保護)を必ず着用し、肌を露出しない服装になるなどしてケガを未然に防ぐ方法をとってください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・こわれやすい物に銃口を向けない。または銃口側にない(ない)ようにしてください ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでください ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されますので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはってください ●イタズラに他人の物、公共の物を撃ったりすることは絶対しないでください。それは犯罪です ●発射をする意志があり、かつ銃口が標的に向いている時以外は絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる以外の人がいる時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないでください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広範囲に注意をはってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員にアイプロテクションの

## 7 【ホールドオープン】



全弾撃ちつくすとボルトストッパーがかかり、ボルトは後退位置で止まります。ボルトストッパーを下げるとボルトが前進し通常位置に戻ります。替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き替えマガジンに入れかえボルトストッパーを下げれば再度発射準備完了です。



**注意**

●ボルトの閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていることと、銃口の向きにも注意をはってください ●寒冷期やカス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メンテナンス不足、クリップホルドの甘さなどが原因となって、ボルトストッパーがかからない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

## 8 【発射が終わったら】

マガジンを抜き、コッキングハンドルを引いてチェンバー内に残弾がないことを確認してください。残弾がある場合、ボルトを引いた状態でボルトストッパーをかけ、銃口側からローダーロッドを利用して押し出してください。なお残弾チェックが終わったら、コックしたハンマーを落とすために一度カラ撃ちしてください。

**CHECK!**  
**Clear?**



使用前

マナー

操作

ホップ

保管

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

通販

中



# ホップアップメカニズム



## 【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向(上向き)の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま(あるいは多少の放物線を描かせて)到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無暴なパワーアップという手段を使わずに、BB弾を遠くまで飛ばすことができる ●弾速はノーマルに較べ遅くなる場合もある ●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温・温度の変化、ガスの変化がホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように、「遠くへ飛ばす」という大きなメリットと「BB弾・ガス圧といった不安定要素が、(ノーマルガン以上に)性能に影響を及ぼす」というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすれば良いわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。



## ⚠️注意 《ホップアップの性能安定の条件》

### ① BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ、キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2~0.25g弾の使用がもっとも効果的(軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表われ弾道が安定せず、重量弾だと飛距離が伸びない)。

### ② パワー(ガス圧)を極力一定に保つ。

ポンペやマガジンの使用時の温度が一定(保管時も同様)であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を計るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

### ③ ラバーチェーンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾づまり等に起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メンテナンス時の注油は微量多頻度で行ない(17ページ参照)条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする、ラバーチェーンバー・インナーパレル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする、BB弾・ラバーチェーンバーやインナーパレルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮も必要。

### ④ 大気の状態が安定している。

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかけ具合に影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レベルでクリアすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80~90%の性能レベルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら(条件をクリアしていないのですから)許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現状説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCマイティBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCマイティBBをお使いください。なお、当製品の場合、30度をこえるような環境下では0.25g弾、それ以下では0.2g弾の使用が命中精度の点では有効です。(0.2g弾=2,400発入り¥700、0.25g弾=1,500発入り¥750)



このマークが目印!

TMP/SPPの実力は、ホップアップの調整だけで大きく変わります。  
ホップアップのノウハウをマスターして、TMP/SPPの性能を実感してください。



## 【調整と試射】

★ホップアップ調整には20m以上の空間が必要です。

**1** まず、銃を撃ててみます(操作の項参照)。ホップのかかりくあいが希望どおりの弾道を描いているかどうかをチェックします。この時、10~12発撃ち平均的な弾道やグルーピングにより判断してください(2~3発ではデータとして不十分です。判断を誤る可能性があります)。

**2** 18ページ【フィールドストリップ(通常分解)】の項を参照しながら、フレームからレーザーを外してください。

**3** 試射の結果、ホップのかかりが弱い時は右(時計回り)へ、ホップが効きすぎている時は左(反時計回り)へアジャストスクリューをまわします。



注意：ゆるみすぎるとスクリューの頭部がポルト内壁にこすれ不調になることがあります。ホップ調整後はポルトが正常作動していることを必ず確認してください。

**警告** レシーバーを外した状態で試射をする場合、リコイルガイドが外れて後方に飛び出してくる可能性があります。図のように左手で上下を挟みこみ飛び出さないようにして行なってください。なお、この状態での射撃はレシーバーがついている通常状態での射撃にくらべフレーム後端にかかるストレスは増大します。破損の可能性が高くなるため必要最低限にとどめてください。

指をポルトにはさまれないよう注意!

## ★調整のポイント

ホップ効果	BB弾の弾道現象	改善方法 (アジャストスクリューの廻)
無効	自重による自然放物落下	さらに右へ
小	水平飛行の距離が自然放物落下よりはのびる	少し右へ
適	水平飛行距離が最長に	そのまま
大	水平飛行からホップに移り、最後に放物弧で落下 (この現象の直前状態が最適なチューニング)	少し左へ
かけすぎ	極端なホップ、極端なドロップ、停弾、発射サイクルのバラツキ等が起きる	さらに左へ

**4** 調整→試射→調整と、以後、希望の弾道が得られるまでくりかえし、納得できる弾道になったら、レシーバーを取りつけてください。(試射はレシーバーを外したままでも行なえます)

**注意** ●「調整のポイント」の表の「かけすぎ」の現象が起きた場合は、すみやかに射撃を中止し改善方法を実行してください(ラバーチェンバーをはじめ銃の摩耗・破損はやめることになります) ●弾づまりの時はアジャストスクリューをホップがきかない所まで戻し、その上でBB弾を取り去ってください(かけすぎの状態=ラバーチェンバー内が狭いために停弾したわけですから、この状態で強引にBB弾を抜き取ろうとすると確実にラバーチェンバーを痛めてしまいます) ●誤った調整方法・分解・改造による故障・事故等については当社では一切の責任を負いません。また、その結果として生じた修理・調整費用はすべて有料となります

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

通販

実銃

# メンテナンス(手入れ)



**警告**

●手入れを怠るとたとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください ●メンテナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください



**注意**

## 《使用オイルについての注意》

オイルはプラスチック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系/シリコン系のものをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン/エアガンで使用されているゴム類や各種プラスチックのなかのある種の材質を侵してしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル(マシン油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆/汚れ落としなど)は、100%といって良いほどヒビ割れなど劣化の原因となります(〇〇石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう)。少なくともKSC製品には「KSCガンオイル」の使用をお願いします。KSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン/エアガンに使用されているほとんどのプラスチック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください。



**警告**

## 《KSCガンオイル使用上の注意》



火気の近くで使用しない、40℃以上のところに置かない、など、KSCガンオイルの缶に表示されている注意内容をよく読み、正しくお使いください。室内の換気、近くにオイルがつくとまずい物がないことなどにも注意してください。



**注意**

## 《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。故障・部品紛失の要因となりえますので定期的にチェックしましょう。特にスクリュー類は、ガスブローバック時の振動により、ゆるみやすい傾向にあります。使用前にチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。(「ネジロック」などのゆるみ止め剤を少量つけ固定する方法もあります。使用の際はその商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。)

## 【マガジン】

マガジン後部のマガジンリンクを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態ですとシールドをしているゴム類に負担がかかり、劣化を早めることとなりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。



**警告**

ガス放出時は、液状ガスが手や顔などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動・植物、電気製品、凍ると破損するものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。

KSCガンオイルを



マガジンリンクを押した状態で放出口(=ノズラバー)からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズラバー上面部やマガジンリンク部のすきまから内部へも注油してください。

※いずれもごく少量でOKです。100発位撃った時(カラ撃ちもふくむ)を目安に行なってください。

つねに100%の性能を発揮させるために、  
銃のメンテナンスをこまめに行ないましょう。



## 【銃本体】

### ●ピストンユニット部

KSCガンオイル250

〔シリコン配合潤滑スプレー〕

¥1,200 (250g入り)

●プラから金属まで  
オールマイティに使えます



ボルトをホルルトオープンさせ、ピストンユニット部周辺やシリンダーのノズル部から内部へKSCガンオイルを少量吹きつけてください



**注意**

●ラバーチェンバー内にはKSCガンオイル等を使用しないでください。オイル分が付着しているとBB弾がスリップして正常な弾速・弾道で発射できないことがあります。以上の理由からマガジン内部、ピストンユニット部の注油は1回の注油量を必要最少限とし、定期的こまめに行なってください(多量少頻度ではなく微量多頻度が、注油(=メンテナンス)とラバーチェンバー内部条件を最大公約数的にベターに保つポイントとなります)。なお、弾道等に影響が出るほどチェンバー内にオイル分が付きすぎた場合は、ティッシュや綿棒等で拭き取ってください ●銃身内が汚れていると命中精度に悪影響をおよぼします。綿棒やティッシュなどで定期的にクリーニングしてください

### ●その他の可動部品

ボルトとシャーシのレール部、バレルラグ、ボルトラグ部、水平配置型ファイアリングメカニズム部など、可動部品の連係する部分、スプリング類などにも時どき注油してください。

### ●銃のクリーニング

長期間使用しない時は、特にサビの出る可能性のあるスプリング類などスチールパーツを中心に、念入りにメンテナンスしてください。



**注意**

メンテナンスはガンオイルを吹きつけるだけでOKというわけではありません。ゴミ、汚れ、水分の付着は、飛距離や命中精度の低下、作動不調の原因となりうるばかりではなく、サビの発生、部品劣化の加速にもつながります。つねにクリーンな状態を保ち、愛用の銃をいつも最高のコンディションにしておきましょう



**警告**

●エアガンは3ページ目でも触れたとおり、悪意の改造を防止するために必要最低限の強度しかありません。使用部品の材質は主にプラスチックや強度の低い金属(亜鉛合金など)です。耐久性には限りがありますので消耗品とお考えください。特にガスブローバック作動に関連する部品は摩耗や劣化が大きく、使用回数が増えるほど寿命は短くなります ●踏んだり、幼児がのみこんでしまうといった万一の事故を考え、BB弾、部品、メンテナンス用品は放置しないでください ●パワーアップなどの危険改造は絶対しないでください。社会に迷惑をおよぼすばかりか、銃の破損確率も高まり本人がケガをする可能性も増大し危険です。なお、誤った使い方や改造が要因となって発生した故障・事故・事件につきましては、当社ではいっさいの責任を負いません

**TMP/SPP**  
SEMI & FULLAUTOMATIC AIR MACHINE PISTOL

使用前

マナー

操作

ホップ

保管

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

通販

実銃

# 分解 (組み立て)

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメンテナンスの時以外は分解しないでください。



**警告** ●作業中に工具類や部品(特にスプリング、ホール類は飛び出してくる可能性があります)でケガをしないよう注意してください ●部品・工具・メンテナンス用具は、たとえ1個でも子供の手の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります ●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください ●無理な分解(組み立て)や、当説明書に説明している以外の方法は、組み違いによる誤作動・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

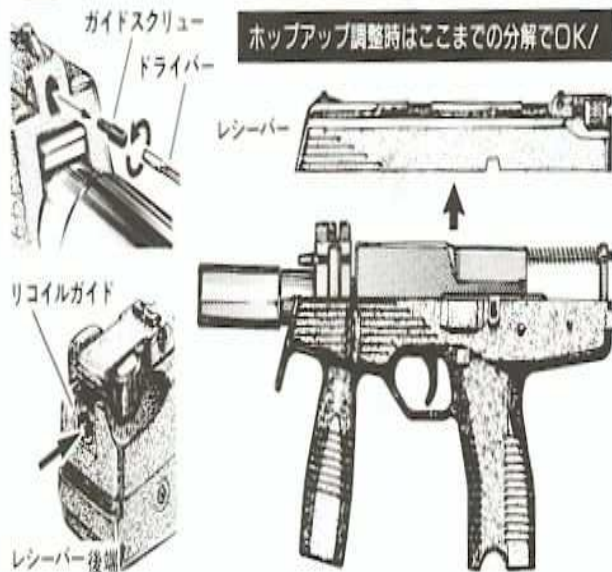
## 【フィールドストリップ(通常分解)】

〈組み立てる時は〉

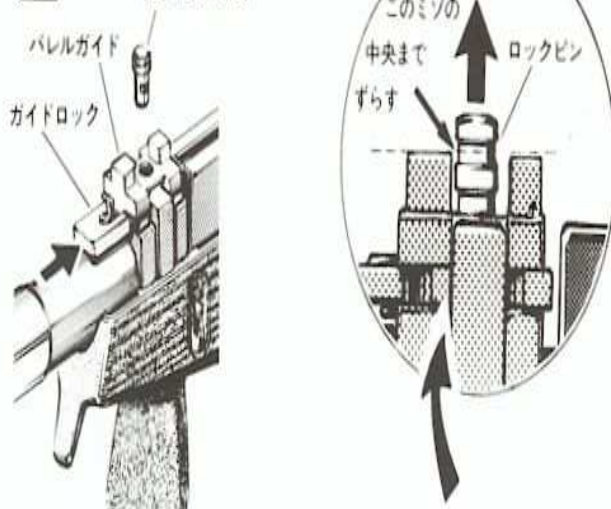
基本的に分解の逆の手順(項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行)で行なってください。

**1** マガジンを抜き、コッキングハンドルを引いて薬室に残弾がないことを確認してください。

**2** ドライバーでガイドスクリューを抜いたら、次に銃後端のリコイルガイドを押し込み、レシーバーを真上に外します。

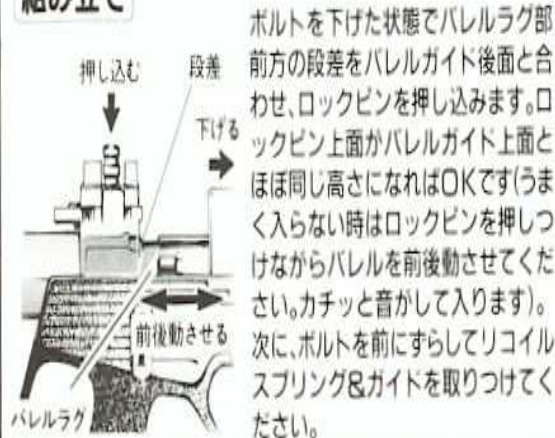


**3** ロックピン→ミゾが左側 (図では手前側)



ガイドロックをバレルガイド側に押しながら、ロックピンを図のあたりまで上にずらし、ガイドロックが押しこんだ位置で止まるようにします。

### 組み立て

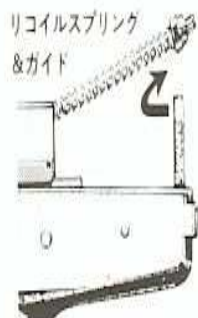
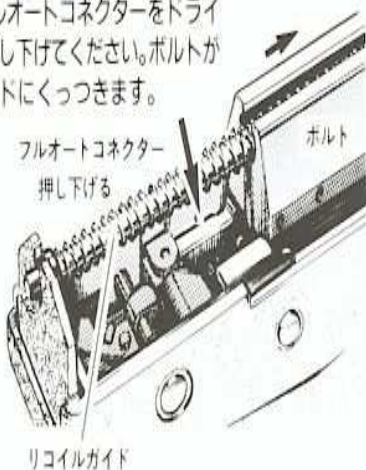


ボルトを下げた状態でバレルラグ部前方の段差をバレルガイド後面と合わせ、ロックピンを押し込みます。ロックピン上面がバレルガイド上面とほぼ同じ高さになればOKです(うまく入らない時はロックピンを押しつけながらバレルを前後動させてください。カチッと音がして入ります)。次に、ボルトを前にずらしてリコイルスプリング&ガイドを取りつけてください。

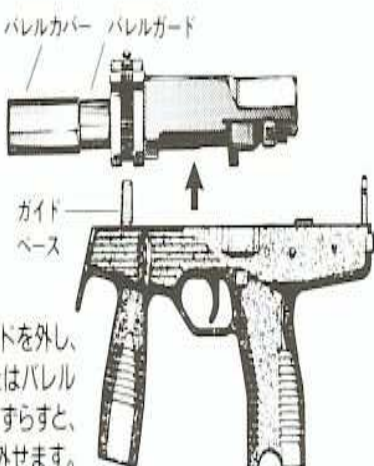
無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります。  
細心の注意をはらって行ってください。



**4** リセスの左右両側を親指と人さし指ではさみ下けたままで、フルオートコネクタをドライバーの先などで押し下けてください。ボルトが前進しバレルガイドにくっきます。

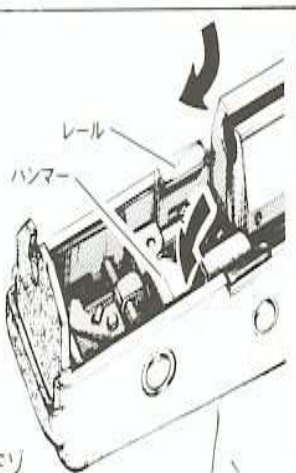


リコイルスプリング&ガイドを外し、ボルトとバレルガード(またはバレルカバー)を持って平行に上にずらすと、バレル&ボルトアッシーが外れます。



### 組み立て

まずハンマーをコックしておき、バレル&ボルトアッシーをすべて組み込んだ状態で、ガイドベースにバレルガイド部を途中まで差しこみ、フィーディングランプを所定の位置に合わせ、全体を沈みこませます。ボルトを下に押しつけながらボルト両側のミソとレールを合わせ、後ろへずらすとカチッと音がして入ります。



**5** バレルカバー/バレルガード/バレルガイドのアッシーを外し、アウターバレルセットをインナーバレルごと前方へ抜き取ると、チェンバーだけが下方へ外れます。

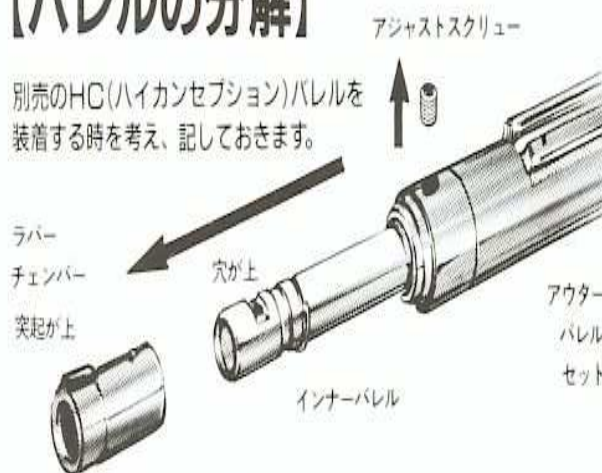


これで通常分解は終了です。これ以上の分解は破損パーツ交換時以外必要ありません。(破損時のパーツ交換は専門店またはKSCへご依頼ください。)

※組み立てる際は、さいごにフィーディングランプユニットをチェンバー下部へ取りつけることをお忘れなく。

### 【バレルの分解】

別売のHC(ハイカンセプション)バレルを装着する時を考え、記しておきます。



アジャストスクリューを十分にゆるめ、アウターバレルからインナーバレル&ラバーチェンバーを抜き取ってください。ラバーチェンバーは後ろに引き抜きます(組み立てる際は、インナーバレルの穴のあいているほうが上になります)。

注意：アウターバレルとインナーバレルを分離する際は必ずホップ調整用のアジャストスクリューを十分ゆるめてから行ってください。しまったまま外そうとするとスクリューの先でラバーチェンバーを痛めてしまいます。ご注意ください。

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

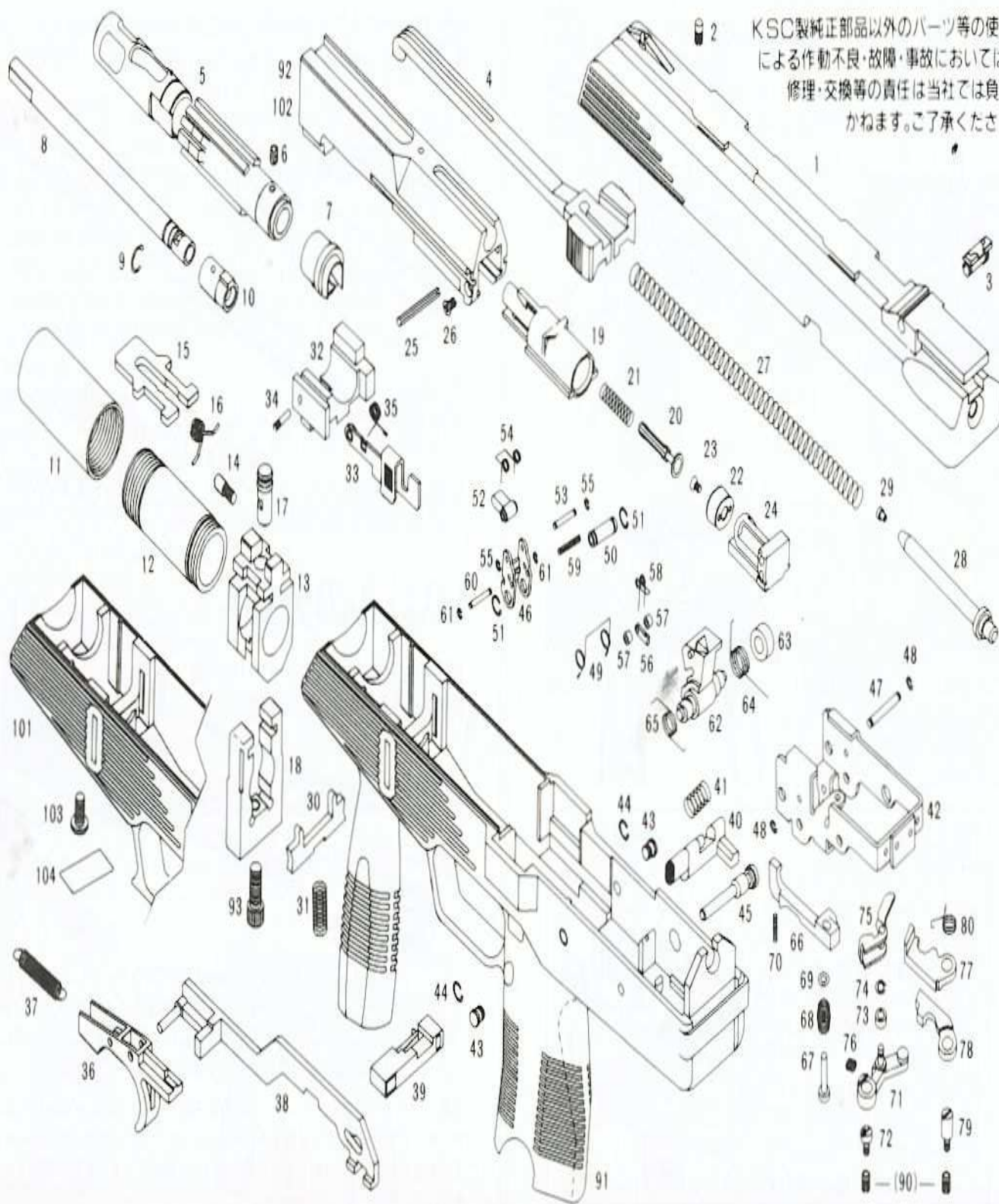
通販

実銃



# KSC TMP/SPP<エアガン>パーツリスト |

2 KSC製純正部品以外のパーツ等の使用  
 による作動不良・故障・事故においては、  
 修理・交換等の責任は当社には負い  
 かねます。ご了承ください



この表の仕様・価格は1997年9月現在のものです(表示価格に消費税は含みません)。  
仕様・価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。



■シリーズ共用

1	レシーバー	¥4,000
2	フロントサイト	¥ 100
3	リアサイトセット	¥ 500
4	コッキングハンドル	¥ 600
5	アウターバレルセット	¥2,000
6	アジャストスクリュー	¥ 50
7	チェンバー	¥ 400
8	インナーバレル	¥1,600
9	インナーバレルリング	(5103-31) ¥ 50
10	ラバーチェンバー	¥ 300
11	バレルカバー	¥1,600
12	バレルガード	¥2,000
13	バレルガイド	¥1,200
14	ガイドスクリュー	¥ 150
15	ガイドロック	¥ 300
16	ガイドロックスプリング	¥ 300
17	ロックピン	¥ 400
18	ガイドベース	¥ 800
19	シリンダー	¥ 600
20	プラグ	¥ 300
21	プラグスプリング	¥ 100
22	ピストンカップ	¥ 600
23	ピストンカップスクリュー	¥ 50
24	ピストンエンド	¥1,200
25	ピストンエンドピン	(軽SP3×22) ¥ 50
26	ピストンエンドスクリュー	(M3×12) ¥ 50
27	リコイルスプリング	¥ 400
28	リコイルガイド	¥ 600
29	リコイルバッファー	¥ 100
30	リセス	¥ 200
31	リセススプリング	¥ 100
32	フィーティングランプ	¥ 800
33	ボルトストッパー	¥ 800
34	ボルトストッパーピン	¥ 100
35	ボルトストッパースプリング	¥ 100
36	トリガー	¥ 600
37	トリガースプリング	¥ 250
38	トリガーバー	¥ 700

39	セレクター	¥ 500
40	マガジンキャッチ	¥ 400
41	マガジンキャッチスプリング	¥ 50
42	シャーシ	¥ 850
43	シャーシピン(×2)	1コ ¥50
44	シャーシピンリング(×2)	(5103-18) 1コ ¥50
45	アクスル	¥ 300
46	インパクトフレーム	¥ 600
47	インパクトフレームピン	¥ 100
48	インパクトフレームリング(×2)	(ETW-2) 1コ ¥50
49	インパクトフレームスプリング	¥ 200
50	インパクトスリーブ	¥ 200
51	インパクトスリーブリング(×2)	(5103-18) 1コ ¥50
52	インパクトハンマー	¥ 250
53	インパクトハンマーピン	¥ 100
54	インパクトハンマースプリング	¥ 200
55	インパクトハンマーリング(×2)	(ETW-1.5) 1コ ¥50
56	ロックプレート	¥ 100
57	ロックプレートスパーサー(×2)	1コ ¥50
58	ロックプレートスプリング	¥ 100
59	ロックプレートスプリングピン	(軽SP2×12) ¥ 50
60	ロックプレートピン	¥ 100
61	ロックプレートリング(×2)	(ETW-1.5) 1コ ¥50
62	ハンマー	¥ 500
63	ハンマースリーブ	¥ 200
64	ハンマースプリング	¥ 100
65	リターンスプリング	¥ 100
66	フルオートコネクター	¥ 400
67	コネクターピン	¥ 100
68	コネクタースプリング	¥ 50
69	コネクターワッシャー	(φ3) ¥ 50
70	ダンバースプリング	¥ 50
71	レベルコントロール	¥ 350
72	レベルコントロールスタッド	¥ 100
73	ローラー	¥ 50
74	ローラーリング	(ETW-1.5) ¥ 50
75	ドロップセフティ	¥ 600
76	ドロップセフティスプリング	¥ 50

(以下、次ページに続く)

使用前  
マナー  
操作  
ホップ  
保管他  
手入れ  
分解  
パーツ  
故障?  
アクセ  
アフター  
通販  
実銃





# KSC TMP/SPP(エアガン)パーツリスト II

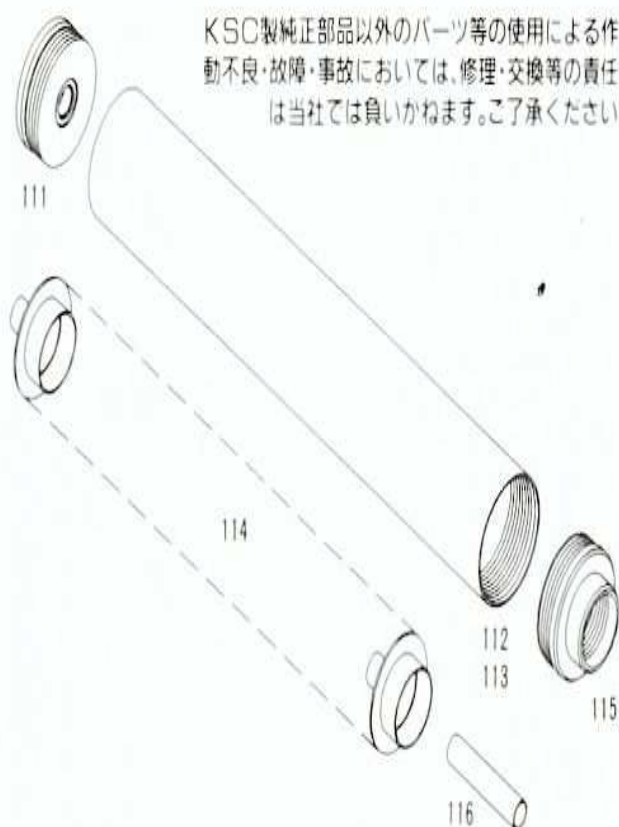
77	ディスクネクター	.....	¥ 350
78	リリース	.....	¥ 350
79	リリーススタッド	.....	¥ 100
80	リリーススプリング	.....	¥ 100
90	スタッドナット	.....	¥ 100

## ■TMP専用

91	TMPフレーム	.....	¥4,500
92	TMPボルト	.....	¥2,000
93	TMPガイドベーススクリュー	.....	¥ 50

## ■SPP専用

101	SPPフレーム	.....	¥4,200
102	SPPボルト	.....	¥2,000
103	SPPガイドベーススクリュー	.....	¥ 50
104	SPPフレームプレート	.....	¥ 200



KSC製純正部品以外のパーツ等の使用による作動不良・故障・事故においては、修理・交換等の責任は当社では負いかねます。ご了承ください

## ■サブプレッサー

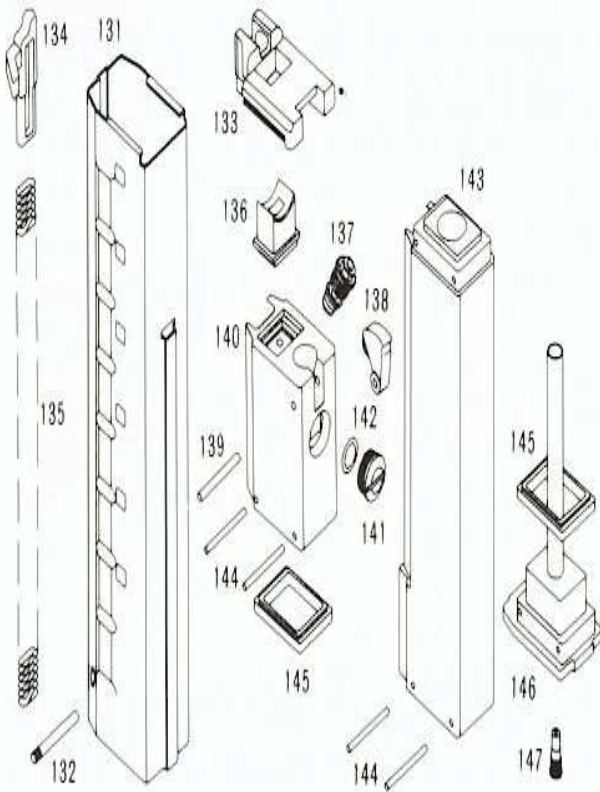
111	エンドキャップ	.....	¥1,300
112	アルミチューブ	.....	¥3,500
113	スチールチューブ	.....	¥2,000
114	バッフル(X22)	1コ	¥ 100
115	バレルキャップ	.....	¥1,600
116	ジョイントパイプ	.....	¥ 200

## ■ローダーセット

121	ローダーロッド	.....	¥ 300
122	ローダーパイプ	.....	¥ 500
123	ローダーファネル	.....	¥ 300

KSC TMP/SPP

この表の仕様・価格は1997年9月現在のものです(表示価格に消費税は含みません)。  
仕様・価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。



■マガジン

131	マガジンケース	.....	¥3,000
132	マガジンケースピン	.....	¥ 100
133	マガジンリップ	.....	¥ 500
134	マガジンフォロアー	.....	¥ 400
135	マガジンフォロアースプリング	.....	¥ 450
136	ノズラバー	.....	¥ 300
137	放出バルブ	.....	¥ 800
138	マガジンリンク	.....	¥ 400
139	マガジンリンクピン	.....	¥ 50
140	インナーヘッド	.....	¥1,400
141	ガスルートキャップ	.....	¥ 200
142	ガスルートリング	..... (φ10.5×1)	¥ 50
143	マガジンインナー	.....	¥2,200
144	マガジンインナーピン(×4)	..... 1コ	¥ 100
145	ジョイントパッキン(×2)	..... 1コ	¥ 300
146	マガジンボトム	.....	¥1,000
147	注入バルブ	.....	¥ 300

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

故障?

アクセ

アフター

通販

実銃

by Rotcelloc Nugledom

# STEYR TMP/SPP

## TMP

タクティカル  
マシン  
ピストル

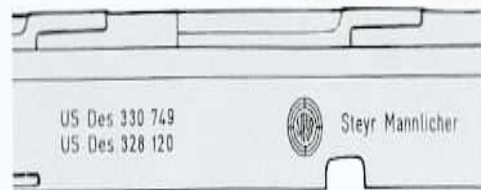
(セミ&フルオート)

TMPもSPPも1992年の発表以来、デザイン上のマイナーチェンジは行なわれていない。あえて探すとすれば、のちにアメリカでの意匠登録ナンバーが凸文字で加わったこと(下図参照)、ボルト刻印のブルーマークのタテヨコが変わったことくらいのみだ。



実際に約20発の9mmパラベラム弾を装弾すると、おおむねKSC TMPの重さになります。

現行フレーム刻印



## SPP

スペシャル  
パーパス  
ピストル



(セミオート  
オンリー)

21176  
砲丸 631 VDK  
TRUSSVILLE AL

ガイドベース刻印

SPPフレーム下部のガイドベース底部にはシリアルナンバー、アメリカの輸入代理店「GS」社名、住所(アラバマ州)、ブルーマークが入っている

・試作MG  
キャッチ

(試作)

(量産品)

(試作)

マガジンリップ形状が送弾のテストでもしたのだろうか? 試作品の中には右側面がこんな形状のマガジンキャッチがついたモデルもあった

ショートマガジン下部

ショートマガジンの試作段階では、下部の滑り止めはなかった。抜きにくいので応急のミゾを入れたものもあり、量産段階で改良された。半透明を考えたか乳白色のタイプもある。



マガジン

マガジンはもともとAUGのように半透明で作る予定だった。強度的な点で変更せざるをえなかったか否かは不明だが、量産では黒色ブラになっている。もともと左側面の装弾部の刻印は半透明を前提に入れられたものなので、黒になった時点で厳密には用をなしていない

ブルーマーク

ブルーハウス(検査場)マークNとPの合成文字がブルーハウスを表わし右下のアルファベットが地名を表わす。Vはウィーン(Vienna)。

NP

弾薬試験合格マーク  
2はウィーン検査場を示す



インスペクションコード  
意図不明。TMP、SPPで打たれているものにはVDK、BDR、DR、CDK、ZDRなどを確認。

VDK

バレルの刻印

(矢印が銃口側)

バレルの中央、カムスリット下部にある刻印

(刻印は逆さに打たれている)



ボルトの刻印

試作品SPP9112471

試作品SPP9202473

試作品TMP9208484

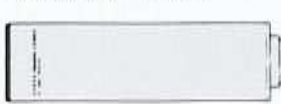
試作品のシリアルが比較的近いナンバーというのなら連番の可能性もあるが、これほどナンバーが飛んでいるとすれば、なんらかの意図があるのかもしれない。例えば9112471の場合、最初の4ケタが試作月=91年12月、改良プロト4型、71は試作パーツナンバーなどと勝手に思いこむと楽しい。文字パランスがだんだん量産品に近づいていることと、発売が1992年後半だから、なんとなくそれっぽく感じてしまったりする。

量産品TMP

量産品SPP

量産品はTMPが5万番台、SPPが2万番台からシリアルナンバーが始まっている。TMPのこく若いシリアルのはブルーマークがタテに打たれている。普通はSPPの横のようにヨコになっている。

サプレッサー(1993年)



STEYR-MANNLICHER 量産品には  
9 mm Para 刻印が入った

(試作)



試作品ではバレルキャップのほうにローレットが入っており、バレル基部のところにスパネで回すための1カットが入られている。

マウントベース(1993年)

マウントベースには前後のカットの仕方などの違いで数種存在する



ストック(1996年)

簡脱式ストックも銃本体同様  
プラスチックを主体としている



使用  
マナ  
操  
ホッ  
保管  
手入  
分  
パー  
故障  
アク  
アタ  
通  
実